

日々新聞

文明の徳澤たる画々には
夢を建築して人財を養ひ

開化の仁恵たるや、父口府縣は
病院を設きて健康を

保ち、方今西京上十
二區又一院をまゐらひ

病者を助けんとす
くは、砂持をなせ、明治八年

四月五日より晴天十日ありて、區々の人数
枝ちとら、の花美ハ都や春の錦を

看鏡り、各町の目印のたハ八坂
神吏の山録よさも似たり

中より一層見更を
ハ下京の
第三画



信画
八尾善也

第四画たり猶述日豊国
神社の砂持ありと是も
定めて賑ふなるべ
浪花四橋之氏
程々堂九化記

